

# SDGs HAND BOOK 2022

## SDGs ハンドブック



- はじめに
- 経営理念とSDGs
- 持続可能な成長への取り組み
- 新製品開発等による高収益体質の維持
- 高付加価値の提供による顧客満足度の向上
- お客様の製造装置洗浄による環境への負荷軽減
- ガバナンス強化に向けた取締役会実効性評価への取り組み
- 働き方改革推進による職場環境の整備



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



# SDGsとは？(What is the SDGs?)



SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰も置き去りにしない(leave no one behind)世界をつくることを目指しています。



1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	



# 私が考えるSDGs



株式会社  
トリケミカル  
研究所

代表取締役社長執行役員  
**太附 聖**



私たちの生活は、さまざまな最先端のテクノロジーによって支えられています。

デジタル化の進展やイノベーションの創出をはじめとして、私たちを取り巻く社会が大きく変化している昨今、トリケミカル研究所は最先端のテクノロジーへ“化学”のアプローチで貢献していくことが求められています。

私たち役職員一同は、人や環境に優しい製品やサービスを創り出していくことを第一に、心を一つにして一生懸命取り組んでいます。

また、会社としても役職員が働きやすい職場環境を構築できるよう全力でサポートしています。

私たちの取り組みを通じて、株主や取引先等ステークホルダーの皆さまをはじめ、世界中の人々が幸せになってほしい。

そんな思いをもって、私たちは持続可能な世界を目指し、日々努力しています。

## 私たちが取り組むSDGs



### ●トリケミカル

研究所は、国連

が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献するため、SDGsを「より良い製品・技術の提供」等の経営理念に組み込んでいます。●当社製品は、その大部分を半導体産業へ供給しています。半導体は、これからの世界成長を牽引するICT社会の進展に大きく貢献しています。ICT社会の進展は、従来人間が対応できなかった分野へも進出できるようになる等、社会課題の解決に大きな前進があると見込まれます。

- 当社が、より良い製品を半導体産業へ供給することは、持続可能な社会への進展に大きく寄与するものと考えています。
- また、当社が、さらなるイノベーションや生産性向上に取り組むことで、より早い社会課題の解決につながっていくものと考えています。
- 世界が、持続可能な成長ができるよう、当社としても対応可能なことから取り組んでまいります。



## 経営理念とSDGs



トリケミカル研究所では、持続可能な成長を目指し、以下の取り組みをマテリアリティ（重要課題）

と位置づけています。

カテゴリ	取り組み項目	取り組み内容
より良い製品・技術の提供	<b>新製品開発等による高収益体質の維持</b> (目標:2025年度までに新製品開発等10件) (実績:2020~21年度/3件)	最先端技術向けの新製品の開発や、既存製品の他エネルギー削減に貢献します。 具体的な取り組み お客さまの技術革新をサポートするため、5年間で新製品開発等10件を目指します。
	<b>高付加価値の提供による顧客満足度の向上</b>	お客さまに高い付加価値を提供することにより、顧客満足度の向上を実現し、持続可能な企業としての基盤を確立します。 具体的な取り組み お客さまの技術革新を促すべく営業部や開発部製造部を中心に真摯に取り組んでいます。
	<b>お客さまのニーズに沿った高品質な製品の提供</b>	製造技術/設備等の改善により、よりお客さまのニーズに沿った高品質な製品を提供できる体制を整備します。 具体的な取り組み 新製品開発時は、製造技術、業務プロセス等、重ねています。また、製造記録のリアルタイム更なる安定化や不適合製品の削減等を通じて、開発部を中心に製造部や営業部等から構成されるワーキンググループを設け、徹底的に議論をモニタリング等、デジタル技術を活用した品質向上への取り組みも進めています。製造工程のお客さまへ高品質な製品の提供に努めています。
環境保全活動への取り組み	<b>お客さまの製造装置洗浄による環境への負荷軽減</b> (目標:2025年度まで300件以上受託を継続) (実績:2021年度/345件)	資源や製造エネルギーによる環境への負荷を軽減するため、2019年から部品の洗浄サービスを開始しました。受注件数は年々着実に増加しており、新たな洗浄設備を導入しています。 具体的な取り組み 環境への負荷を軽減するため、2019年から部品の洗浄サービスを開始しました。受注件数は年々着実に増加しており、新たな洗浄設備を導入しています。
	<b>製品容器リターナブル(回収再利用)による資源の有効活用</b>	限られた資源を有効に活用するため、当社が提供する製品容器は、お客さまの利用後、回収し再利用しています。回収した容器は、徹底的に洗浄を行い、再利用可能かどうか厳格にチェックしています。再利用不適合な容器は、新しい容器等の製造資源としてリサイクルしています。 具体的な取り組み 当社が提供する製品容器は、お客さまの利用後、回収し再利用しています。再利用不適合な容器は、新しい容器等の製造資源としてリサイクルしています。
	<b>排水の徹底管理による環境への負荷軽減</b>	山地生態系の保全等、環境への負荷を軽減するため、工業排水の管理を徹底しています。 具体的な取り組み 製造で使用した排水は、「ピット」と呼ばれる中間貯水施設に集めて管理しています。中間貯水施設に集めた排水は、30項目に及ぶ検査を経て排出します。
	<b>設備運用の変更等による二酸化炭素排出量削減</b> (目標:2023年度/売上当たり二酸化炭素排出量10%削減【2021年度比】)	気候温暖化への対策として、温室効果ガスの排出量削減に取り組めます。 具体的な取り組み 2022年に国の補助事業である「省エネ最適化設備の運用変更等によりエネルギー使用量の削減」を受診しました。この診断結果にもとづき、スクラパーファンの夜間モード設定変更等、既存削減に努めていきます。
企業価値の最大化	<b>ガバナンス強化に向けた取締役会実効性評価への取り組み</b>	ガバナンスを強化するための活動(取締役会実効性評価)を実施することで、より適切な企業運営を目指します。 具体的な取り組み 2021年度には、すべての取締役および監査役に行いました。2022年度は、中長期的な経営戦略等員トレーニング方法の改善に向けた取り組みを実施し、その結果、当社の取締役会は適切に運営され、実効性は確保されていることを確認を踏まえたサステナビリティを巡る重要課題に関する取締役会での議論、グループガバナンスの強化、役進めていきます。
	<b>コンプライアンスの実現に向けた環境整備</b>	利用しやすい環境に整備します。 具体的な取り組み 当社の内部通報制度は、通報すべき事象が(外部)の何れかに通報(匿名可)する仕組みがあります。また、通報制度の利用率を向上させるため、発生した際、社内にある無人受付ポスト、総務部、常勤監査役、顧問弁護士(外部)、社会保険労務士となつています。通報内容は守秘し、通報者に対して不利益な取り扱いを行わないことを徹底してため、勉強会や社内イントラネット等を通じ周知に取り組んでいます。
安全性向上、健康増進、公正かつ開かれた企業風土	<b>働き方改革推進による職場環境の整備</b> (目標:2022年度、長期休暇取得率70%以上) (実績:2021年度/68.5%)	働き方改革の推進により、社員が生き生きと働ける職場環境を目指し、総労働時間短縮、長期休暇取得率の向上を目指します。 具体的な取り組み 社員一人ひとりが生き生きと働ける職場環境をよる職場内の協力体制構築、トップからの強いメッセージ発信等働き方改革を促進する施策により、総労働時間短縮、長期休暇取得率の向上を目指し、不要な定例会議の廃止、テレワークの導入、有給取得日数の還元、各自のスケジュール公開にメッセージ発信等働き方改革を促進する施策により、総労働時間短縮、長期休暇取得率の向上に
	<b>労働安全衛生マネジメントシステムの構築</b>	ことにより、社員の誰もが安心・安全に働ける職場を構築します。 具体的な取り組み 労働安全衛生に関して適切なマネジメントを行うことにより、社員の誰もが安心・安全に働ける職場を構築します。9月よりマネジメントシステムの運用を開始しました。PDCAサイクルによる改善を続けることで、社員働きやすい職場づくりを進めています。

SDGsとの紐付け



# 新製品開発等による高収益体質の維持

SDGsの項目だと…



最先端技術向けの新製品の開発や、既存製品の他分野への応用等により、高収益を生み出す体質を維持し、産業全体の技術革新・エネルギー削減に貢献します。



目標：2025年度までに

新製品開発等 **10件**

実績：2020～21年度

**3件**



## 当社が果たすべき役割

当社の主要な販売先である半導体業界におきましては、各種データ量の増加や、AIや車載等に向けた用途の拡大を受け、半導体の高性能化ニーズが継続しております。また、それに伴う新規化学材料の開発および市場への投入も引き続き求められています。

このような環境下、当社の研究開発は、開発部を中心として、生産技術部、製造部、営業部等と連携を取りながら活動を進めることにより、迅速かつ効率的に結果を出すことができる体制を構築しております。

当社が果たすべき役割として、優れた製品を定期的の開発することにより、高収益体質を維持し、産業全体の技術革新、社会のエネルギー削減(※)に貢献していきたいと考えています。

そこで、お客さまの技術革新をサポートするため、5年間で新製品開発等10件を目指します。



※当社製品は、主に半導体の製造原料として使用されており、特に最先端デバイスに活用されています。当社が技術革新し、新製品を開発することにより、半導体の極小化が進むことで社会のエネルギー削減につながります。

SDGsの項目だと…



お客さまに高い付加価値を提供することにより、顧客満足度の向上を実現し、持続可能な企業としての基盤を確立します。



**積極的な製品技術の提案**



**リクエスト案件への  
真摯な取り組み**

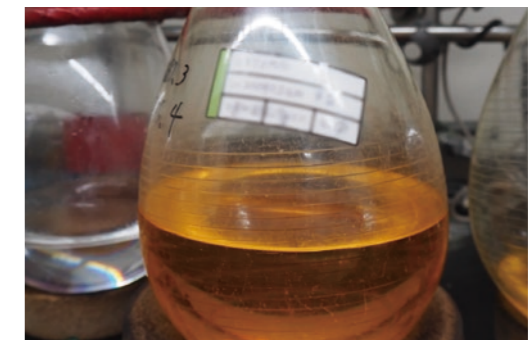


## お客さまの要望に応えるために

当社を取り巻く経営環境として、テレワークやオンライン授業の急速な普及等により、広範な用途にわたり半導体需要が増加しています。そのため、依然として世界的な半導体不足の状況が続いており、国内外で半導体製造設備の活発な投資とともに一層の性能向上が求められています。

当社としては、営業・開発・製造部門が連携を深め、業務改革の推進、コストパフォーマンスの改善を図り、お客さまの要望に的確に応えられるよう取り組んでおります。今後もこれまで以上に、開発力の向上および生産技術の改善に取り組み、お客さまにより良い製品および技術を提供することで、顧客満足度の向上を図っていきたく考えています。

そこで、お客さまの技術革新を促すべく、営業部や開発部を中心に積極的に製品技術の提案を行うとともに、お客さまからの「リクエスト案件」(\*)に対して開発部や製造部を中心に真摯に取り組むことにより、顧客満足度の最大化を実現していきます。



※リクエスト案件とは、お客さまから実験・設計・開発・データ測定等の依頼を受けた案件のことです。リクエスト案件の増加は、お客さまからの期待の大きさや、技術向上・革新への取り組みを表します。

# お客様の製造装置洗浄による環境への負荷軽減

SDGsの項目だと…



資源や製造エネルギーによる環境への負荷を軽減するため、お客様の製造装置を洗浄して部品のメンテナンスをしています。



目標：2025年度まで

**300件以上受託を継続**

実績：2021年度

**345件**



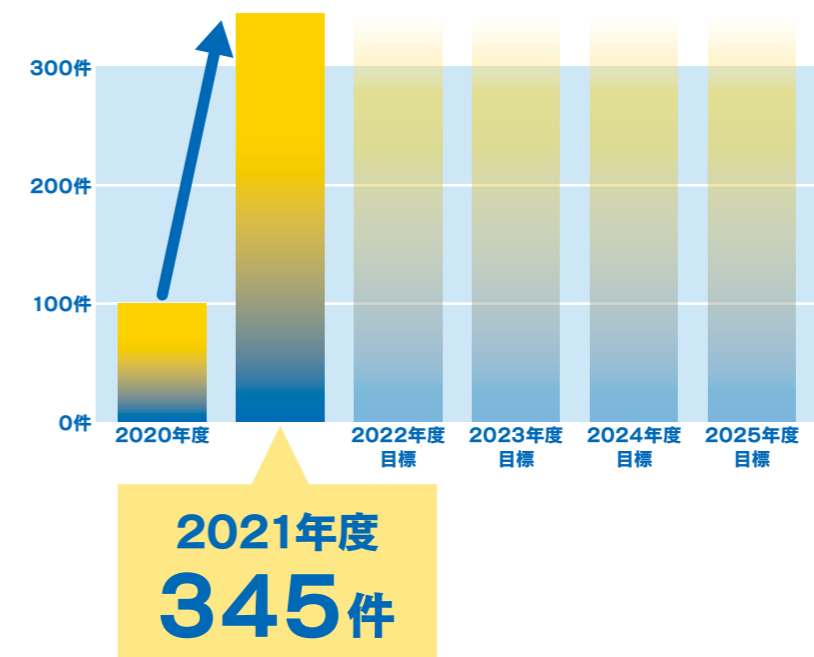
## 環境問題への配慮

近年、世界規模で気候変動や生物多様性の喪失がより一層進行し、すべての人や企業がこれらの課題に対して当事者意識をもって取り組んでいくことの必要性が叫ばれています。

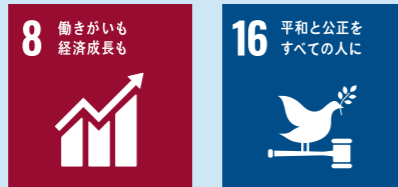
最先端・高純度化学材料の開発・製造・販売を事業としている当社も、「化学物質が環境に与える影響の大きさ」を正しく認識し、顧客・社員の安全性向上や健康増進を常に念頭に置き、かつ、「環境保全活動への取り組み」を経営の最重要課題の一つと位置づけ、事業活動を行うこととしています。

このようななか、当社では環境への負荷を軽減するため、2019年から部品の洗浄サービスを開始しました。受注件数は年々着実に増加しており、新たな洗浄設備を導入することにより受け入れ体制を整えています。

部品洗浄サービスの受託件数推移



SDGsの項目だと…



ガバナンスを強化するための活動(取締役会実効性評価)を公表することで、より適切な企業運営を目指します。



**取締役会実効性評価の実施による持続可能な成長**



## 取締役会実効性評価の概要

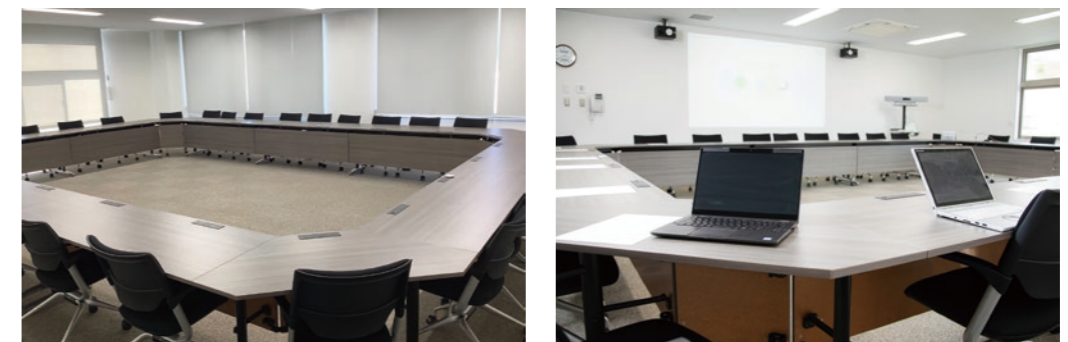
2021年度の実効性評価については、すべての取締役および監査役にアンケートを実施し、外部コンサルタントの意見を踏まえ、分析および評価を行いました。

その結果、当社の取締役会は適切に運営され、実効性は確保されていることを確認しました。

今後もより実効性の高い取締役会を目指し、検討を重ねていきます。

## 2022年度の取り組み

2022年度は、中長期的な経営戦略等を踏まえたサステナビリティを巡る重要課題に関する取締役会での議論、グループガバナンスの強化、役員トレーニング方法(\*)の改善に向けた取り組みを進めていきます。また、自社の中長期的な成長の観点から取締役および監査役として必要なスキルの検討を行い、重点的にトレーニングを行っていきたいと考えています。



※トレーニング方針として、取締役・監査役に期待される役割と責務を適切に果たせるよう、外部機関による研修のほか、社内施設の見学・説明、取締役会メンバーに加え、部長以上により構成される経営戦略会議への出席等を通じ、当社企業に対する理解促進の場を積極的に設けています。



# 働き方改革推進による職場環境の整備

SDGsの項目だと…



働き方改革の推進により、社員が生き生きと働ける職場環境を目指し、総労働時間短縮、長期休暇取得率の向上を目指します。



目標：2022年度

長期休暇取得率 **70%以上**

実績：2021年度

**68.5%**



## アットホームな雰囲気があり長期休暇がとやすい会社です。

### 総務部 男性



当社は、職場の先輩・同僚が仕事をサポートしてくれるので、長期休暇も気兼ねなく取得することができます。会社も働き方改革を進めており、不要な会議の廃止や、テレワークの導入、スケジュールの共有等、有給休暇を取得しやすい環境を整えてくれています。

また、先日は社長から「社員は残業するより、自分のために時間を使ってほしい。」というメッセージをいただきました。

## 子育てにも理解がある会社です。

### 第一製造部 女性

私は直前までプロジェクトリーダーを務めていましたが、同僚・上司のサポートがあったからこそ、安心して産休に入ることができました。

職場復帰後も、自分の生産性を向上させることで早めに帰宅し、夫と一緒に子育てに励んでいます。



### 総務部 女性



私が所属する部署は、子育て中の人が多く、急な子供の発熱等によるテレワーク実施についても理解があります。

今後は、総務部として、自身の産休経験を活かした制度の活用方法等を発信していくつもりです。

# これからも美しい地球であるために



私たちは、持続可能な世界の実現を目指して  
取り組んでまいります。